

## 猫が敷地などに入らないようにする方法

### 忌避剤

- 猫の嫌いな臭いや刺激性によって猫が近づきにくくする方法です。
- 雨や風で効果が薄れてしまうので、効力を維持するために定期的に交換しましょう。
- 猫が臭いに慣れてくると効かなくなるので、同じものを長期間利用するのではなく、時々種類を変える必要があります。
- 臭いがきついものや色が付いてしまうものもあります。

※注意：化学薬品などは化学物質過敏症など健康被害の誘因となる可能性があるので使用はひかえてください。

### 忌避剤

対策	使用方法・参考事項等
市販の忌避剤	ペットショップや薬局、ホームセンター等で販売 ※長期間にわたって効果が持続するわけではないことに注意 (ある程度の期間ごとに反復して撒く必要があるが、価格との兼ね合いの判断が必要) 猫の個体差で反応が鈍い場合がある。
香りの強いハーブなどの植物を植える	猫の嫌がる香りのするハーブなどを植えるか、鉢植えを猫の通り道に置く。あるいはハーブの香料を置く。 ※ランタナ、ユーカリ、ゼラニウム、ヘンルーダ、ローズマリー、レモングラス、柑橘類、ペパーミント、タマネギ、ニンニク、チャイブ、マリーゴールド、カニナハイブリッド(ドイツで開発されたコリウスの一種で犬にも有効と言われる) など
木酢液	園芸用肥料としてホームセンター等で販売されている。 容器に入れるか、スポンジや布に浸み込ませて置く。 スプレーすれば、猫のにおい消しにも有効。
竹酢液を加工	竹酢液(園芸用肥料としてホームセンター等で販売されている)を加工して撒く 材料：竹酢液(約400ml)、唐辛子(10本～15本)、レモンバームの葉(20～30枚) 1. 作り方： ○ (1)500mlの空のペットボトル容器に材料を入れる。 ○ (2)1～2日後にレモンバームと唐辛子を除く。 2. 使い方：4～8倍に薄めて使う。(匂いがきつい場合は10倍位まで適当に薄める)
クレゾール液	糞をしている場所を綺麗に洗い流し、臭いを残さないようにし、クレゾール液を約20倍に希釈し、あたり一面に撒く。これを2～3回繰り返す。
ナフタリン	ナフタリン(衣類の防虫剤)を糞をする場所に置く。
米のとぎ汁	猫の通り道に撒く。糞をした場所の臭い消しになる。
生にんにく	細かくきざんで撒く。 ネットに入れて吊るす。
とうがらし	細かく刻むか粉末状のものを撒く。 ※唐辛子パウダーなどはアリが食べてしまう

タマネギ	タマネギの薄切りを一週間続けて猫の来るところに夜中に撒く。
コショウ、カレー粉等の香辛料	通り道やフンをする場所に散布する。
コーヒーかす、茶殻	コーヒーを淹れたあとのカス、どくだみ茶などの茶殻を散布。 ※乾燥してしまった場合の効果は不明。花壇等にも撒ける。
ミカン等の皮	かんきつ類の皮を撒く。（※乾燥してしまった場合の効果は不明） かんきつ類の香りのする薬品を置く。
ほおずき	秋になるとほおずきの実をとり、それをほぐして猫の来る場所に置く。 雨が降ると匂いが消えるので取り替える。
煙草の吸い殻	糞や尿をする場所に、吸い殻を撒く。 吸い殻をほぐして水で溶かしたものを撒く。
食用酢	容器に入れるか、スポンジや布に浸み込ませて置く。 2倍から10倍程度に水で薄めたものを噴霧（※毎日行う必要ありとのこと。）
ハッカ系	ハッカ系芳香剤、ハッカ系ハーブ、ハッカ系練り歯磨き、（湿布薬？）
どくだみの葉	どくだみの葉をつぶしたもの撒く。またはつぶした汁をまく。 どくだみを植える。
重曹	撒いたり、土に混ぜ込むことで、猫のにおいを消すことができる。

- これらのほかに、市販品が園芸店、ホームセンター、ペット店、スーパー等で売られています。
- 以下の薬剤も効果がありますが、取り扱いに注意が必要です。
- 液体を使用する場合、植木鉢の皿等にスポンジや布に浸みこませ、雨にあたら無いようにすると日持ちする。

## 猫がやってきたときに追い払う方法

### 猫が来たときに追い払う対策

対策	使用方法・参考事項等
水鉄砲等	猫は水で濡れることを嫌うので、追いはらうことができる。ただし、人がやっていることがわかってしまうと、不在時に侵入するようになるので、猫に見破られないように隠れてするとよい。 ※柑橘系の匂いを含んだ水だとさらに効果的と言われている。 ※散水式ホースを設置しておいて、猫を見かけたら水を出すか、あるいは、センサー感知式で自動放水する製品（インターネット通販で“ガーデンプロテクター（散水器）”等の名称で1万6千円程度で販売されている）が販売されている。（効果不明）
ブザー	遠隔操作式のものやセンサーつきのものが防犯コーナーに販売されている。猫が通過するときに鳴らすと警戒して近寄らなくなる。
超音波機器	センサー感知式の超音波発生器 ※猫の個体差で反応が鈍い場合がある。 また、だんだんと猫が慣れてしまう場合があり、費用対効果を考える必要がある。

## 構造物

### 構造物

対策	使用方法・参考事項等
水を撒く	ホースでたっぷり水を撒く。（※猫は水を嫌う。）
砂利（軽石）	大きめの砂利を敷き詰める。軽石（中玉の大きさ）は安価で効果も大きい。花壇などの場合は直径 1cm 程度の軽石が混じった観葉植物用の土を敷くのもおすすめ！最近、ホームセンターで見かける防犯砂利は高価だが、防犯効果も含めた効果が期待される。（防犯砂利の猫に対する効果は未確認。猫に対しては大きさが小さめのものを選ぶと良いかも）
大きな石	物理的に歩けなくなる位置に石を置く。
小さな石	猫の通りそうな出入り口に 3～5 cm の小石をたくさん並べておく。
松ぼっくり	猫が歩くところに敷きつめる。
枯れ枝	球根や種が植えている所に敷きつめると掘り返されない。
トゲのある植物を植える・葉を撒く	カラタチ、バラ、サボテン、ヒイラギ、ピラカンサ、地面に沿って延びるタイプのコニファーなど ※猫の通り道対策として植栽に。ヒイラギの葉を花壇等の表土にすき込むと効果的。※花壇等におすすめ
地面を被う植物を植える	日当たりの良い庭の場合の例：タイム、ヘリクリサム、ビオラ、オランダイチゴ、ケンタッキーブルーグラス、ブルーフェスク、リボングラス、レモングラス、ゼラニウムなど 日陰の庭の場合の例：アイビー、ツルニチニチソウ、斑入りカキドオシ、ラミウム類など ※植物が 10～30cm ぐらいの高さ（猫の目の高さぐらい）に繁っていると、猫は茂みの中に入っていない。 ※茂みの高さはできるだけ高く、密であることが望ましい。やわらかそうな裸の土を見せないこともポイント。 ※軽石等を敷く方法を併用するなどの工夫をすれば、全体を植物で覆う必要がなくなる。さらにハーブ系・柑橘系の香りがする植物の場合は相乗効果が期待できる。
灰などを撒く	ホームセンターや園芸店で販売されている。 園芸用の石灰や炭粉などを撒く。（※足に付き、猫が嫌がる。）
とげとげシート	ホームセンターや園芸店で販売されている。 全面に敷きつめなくても、跳び越えられない幅に敷けばよい。塀の上など有効。
目の細かい網	敷くと爪がひっかかり歩きにくい。
アルミホイール	敷くと足音がするので嫌がる。
物理的妨害	トレリス（ガーデニング用の木製の柵）を倒しておいておく。（花壇等の場合）
ネットや柵	乗り越えられない高さ（1.5メートルほど）の網、柵で囲うか、侵入路をふさぐ。
猫のトイレをつくる	逆発想で、庭の隅に猫のトイレをつくる。 猫より大きめの木箱に砂を入れておき、定期的に砂を交換してやればそこ以外ではしなくなる。

以下の侵入防止策は、人が転んだときに怪我をするおそれのない場所に設置しましょう。

#### 設置場所に注意が必要な対策

対策	使用方法・参考事項等
テグス	釣り糸などのテグスを猫の足がひっかかる高さになるように、侵入口や通路に張る。 釣り糸は猫の目に見えないので、何かが触れる感を嫌う。
割り箸など	割り箸や木の枝を通路や花壇、植え込みに立てる。

- やわらかい土の地面は猫のトイレの場所になりやすいので、タイルを敷きつめたり、コンクリートで覆うという方法もあります。ただし、効かない猫もいます。
- 水を入れたペットボトルを設置する方法は、効果はほとんどありません。場合によっては、火災の原因となるのでやめましょう。
- **猫により個体差があるので絶対に効果があるというものではありません。**